



参加・参画から協働へ

市民一人ひとりが 主役のまちづくりを目指して

平成十四年の年頭にあたり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。新しい年が皆様にとって、夢と希望に満ちたすばらしい年となります。まずよう心から願うものであります。引き続き市政を担当することとなりましたが、改めてその重責に身の引き締まる思いであります。皆様から寄せられました信頼とご期待に怠るべく、新たな決意と情熱をもって市民主体のまらづくりに取り組んで参ります。

ご承知のように、自己決定、自己責任を基本とした本格的な地方分権時代を迎え、限られた財源を最大限に生かして、いかにより住み良い地域づくりを進めていくのか、知恵比べの時代となっております。地方自治体を取り巻く環境は大きな変革の流れの中にあります。

今、誇り高き自立や自助の心を持った市民と行政がパートナーシップを形成し、時代の潮流や未来を見据えた、しっかりとした理念を共有しまちづくりを進めていく必要があります。まちづくりへ市民の皆さんが自らの事として、積極的にかかわっていただく「協働のまちづくり」を推進し、真の意味での市民自治を構築していくことこそ、二十一世紀の自治体に求められる姿であると考えます。

市民の皆さん自らが参加・参画から協働へと、真の「市民自治つる21」の確立を目指し五つのアクションプランと合わせ、新世紀のまちづくりのための施策を志を持って展開することにより、必ずや個性豊かな活力あふれる都留市が実現できるものと、確信するものであります。その具体的な基本政策をいくつか提唱させていただきます。

◎「参加・学習体験都市つる」構想の推進

観光が見て楽しむ観光から、宿泊しながら学び、体験する観光にシフトする中で、都留市の独自の歴史や文化、豊かな自然や特色あるイベント・祭り、都留文科大や生涯学習関連施設などの地域の資源を利活用して、市民や市外の方が学習体験を通して自己実現を図り、生き甲斐を求めて交流することができる「参加・学習体験都市つる」の実現を目指して参りたいと考えております。そのため、セミナーハウス、クラフトハウスなどの整備、都留文科大新図書館と市立図書館のハイテクネットワーク化、また、市内まるごと博物館構想の一環として用水の回廊、花の回廊、芭蕉の回廊など歴史回廊の整備や実りの径、香りの径、森の径、里の径など、それぞれのテーマに沿った自然の径の整備を図って参りたいと考えております。

◎豊かで人によさしいまちづくりの推進

男女共同参画社会推進のための女性起業家への支援や女性が働きやすい環境づくりとして学童保育の促進など、女性の就業環境の整備に向けた取り組みをはじめ、小規模なオフィスや自宅でITを駆使して働くSOHO(ソーホー)事業を推進し、市民のベンチャー起業支援に取り組んで参ります。また、深海の深層水ならぬ、陸の深層水と呼ばれる本市の豊かで清冽な地下水や自然・風土を生かした企業の育成に努めるなど、地域の活性化や雇用創出の機会づくりを行って参る考えであります。